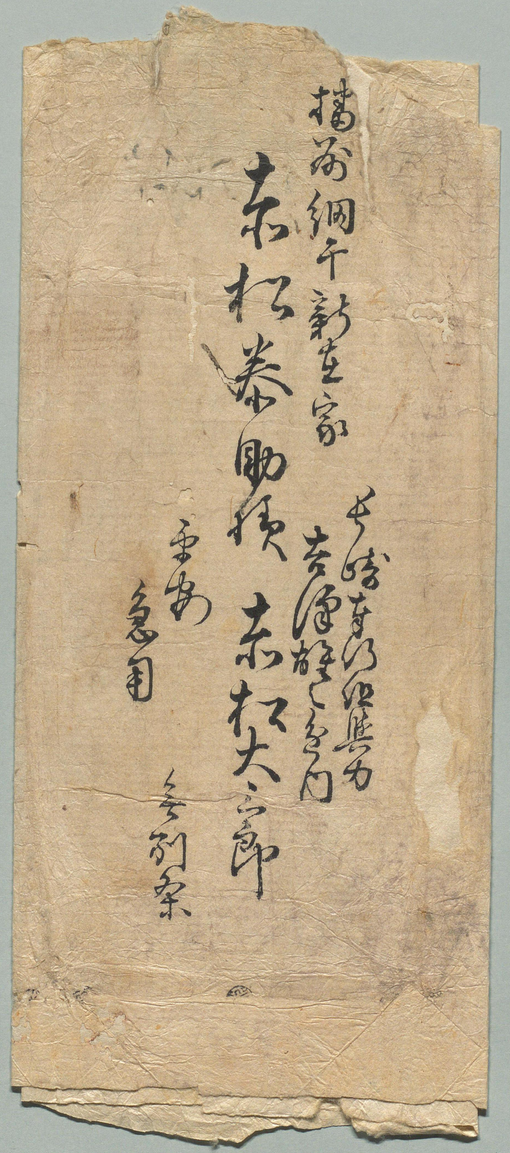
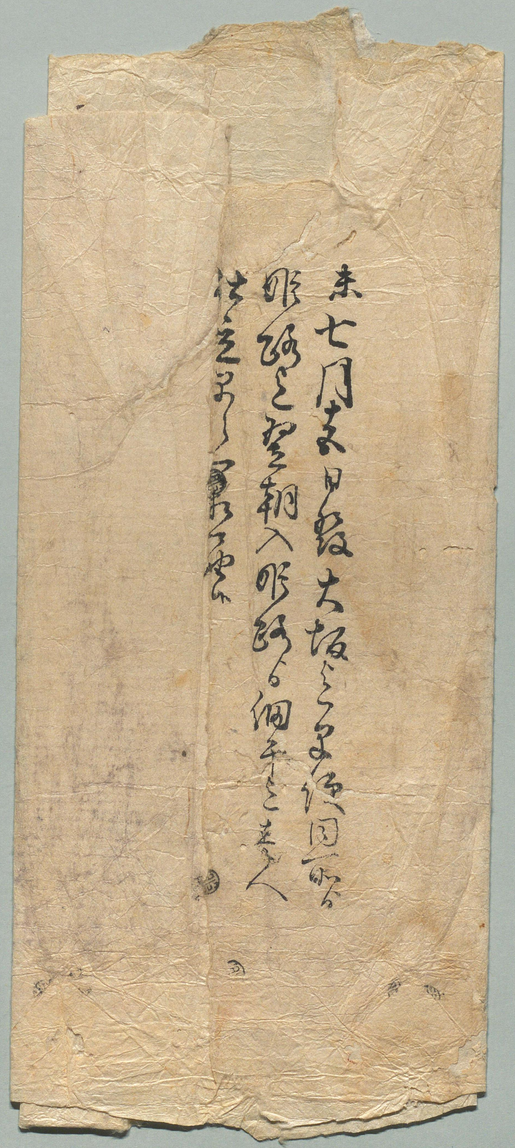


国立国会図書館　赤松則良関係文書 3-26



国立国会図書館　赤松則良関係文書 3-26

国立国会図書館　赤松則良関係文書 3-26

定書之事

一 十五日ニ交遣可為法事

一 関所之義番衆替ニ而被申付候

日毎ニ相改申付て置申

付於若衆 遊興すてるましく候共

浪人ハ関所之事口論ならは

其外中間若衆人寄中事にて

相者方より可申付事

一 宿番毎日在之候て其上地ニ入置

可申付 但ゝ候ハかいまて口論之時ハ

浪人一夜三年以前より在所ニ

其外ゝ様ニ可申付事ノ以下

者之体ニかの者見付候ハ宿

可為由申付ハ無用之者可申付

為相之様ハ地下ゟくゝ口論者

可申付者也

天正四年卯月十二日

一色

花押

某殿

覚

関所之義為申付其身ハ今度あるへく候

中出候ハ御縁ニたかひのうへ

其意しし

ニ而人ハきしくハ御法度として

とらへ申候ハ可申付候

七月廿日

猪飼

花押

中家中